年間授業計画 新様式例

高等学校　令和８年度　（３学年用）　教科　芸術　　科目 ピアノ基礎

教　科：芸術　　科　目：ピアノ基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　6 組 （選択者）

教科担当者：（　山下秀和　）　（山岸由美子）

使用教科書：（ 音楽之友社　改訂版 ON! 1　　）

教科　芸術：音楽Ⅰ(ピアノ基礎)　の目標：
芸術の幅広い活動をとして、各科目における見方・考え方を働かせ、社会の中の芸術や芸術文化と豊かにかかわる資質、能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、表現するための技術を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり芸術の良さや素晴らしさを深く味わうことがだきるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　ピアノ基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ピアノの機能、構造を文化的。歴史的背景などとの含め理解する。初心者をベースにした内容で、ピアノの基礎的な演奏法技術を習得し、多様な音楽の中でピアノの使われ方、使い方を実践を通して学ぶ。	一つ一つの演奏技術、楽曲についてイメージを持って表現することで、ピアンおの面白さ、楽曲の美しさを深く味わったりすることができるようにする。	ピアノを演奏することで、音楽の活動をより幅広いものにし、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって人生をより豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 ピアノ理解と基礎的な奏法	・指導事項　ピアノの構造。演奏の基礎基本。音符と鍵盤の関係、運指。初歩的な技術を使った楽曲演奏。 ・教材　バイエル他 ・一人１台ピアノの活用	【知識・技能】 音符と鍵盤の位置関係を正確に理解でき、音価を理解し適正、合理的な指使いができる。 【思考・判断・表現】 正確な演奏でき客観的に自分の演奏を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の課題を把握しステップを着実に踏んで	○	○	○	6
	B 単元 楽曲演奏１	・指導事項　簡単な楽曲の単独演奏。　旋律の片手ずつ、両手で演奏。 ・教材　「聖者の行進」 ・発展として主旋律（コール）に対してレスポンスを加える。手拍子で得たリズムを活用する。	【知識・技能】 両手を対等に使い、正確で安定した演奏ができる。 【思考・判断・表現】 自分でレスポンスのリズムを生み出し、旋律と調和させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽の可能性広げより豊かなものにしようと	○	○	○	8
	定期考査	観察		○	○	○	1
	C 単元 ピアノ演奏の発展　伴奏演奏 ピアノ演奏の発展　アンサンブル	・指導事項　・ベース音のみで（左手）　・コード音のみで（右手） ・総合的に（両手で） 旋律パートと伴奏パートの連弾 ・教材「聖者の行進」 ・一人１台ピアノの活用　等	【知識・技能】 コードを理解しピアノで演奏できる。 【思考・判断・表現】 音楽の様々な役割を理解し、役割にあった演奏ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 連弾相手と協調しながら音楽を作り上げようとしている。	○	○	○	8
	D 単元 楽曲演奏1の完成 ピアノ音楽に親しむ	・指導事項　「聖者の行進」　旋律、伴奏を合わせた総合的なものとして単独演奏する。 ・教材「聖者の行進」 ・一人１台ピアノの活用 様々なピアノ音楽を鑑賞する	【知識・技能】 各パートを正確に演奏し、バランスよく演奏できる。 【思考・判断・表現】 曲の性格を理解し、曲調にあった演奏ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い演奏の在り方、工夫を考えている。	○	○	○	8
	定期考査	演奏テスト		○	○		1
2学期	E 単元 楽曲演奏２	・指導事項　より高度な楽曲にチャレンジしピアノ演奏の楽しみを深める。 ・教材「戦場のメリークリスマス」 ・一人１台ピアノの活用 全体五つの区分をそれぞれ一つの小曲と考え演奏のポイントを理解して取り組む。	【知識・技能】 区分ごとの弾き方を理解し、正確で安定した演奏ができる。 【思考・判断・表現】 区分ごとの音楽的を特徴をつかみ、表現力豊かな演奏ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の課題を把握し主体的に取り組もうとし	○	○	○	12
	F 単元 ピアノ演奏の発展　コード譜を使った演奏 ピアノ演奏の発展　弾き語り	・指導事項　コード譜を見ながら簡単な曲の伴奏したり、旋律にコードを付けて演奏する。 ・教材　限られたコードで演奏できるいくつかの楽曲。 ・一人１台ピアノの活用	【知識・技能】 使用するコードを理解し演奏できる。 【思考・判断・表現】 曲の性格を理解し、曲調にあった演奏ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い演奏の在り方、工夫を考えている。	○	○	○	10
3学期	まとめと反復練習	これまで取り組んだ楽曲、技術を定着させ、より豊かに演奏できるようにする。また自分で楽曲を見つけ楽しみながら練習に取り組む。	ピアノ演奏を理解し、基礎的な技術を習得できたか。ピアノ演奏することで、より広く音楽を楽しむことができるようになったか。	○	○	○	16
							合計 70